

FUYO LEASE GROUP

# 2022年3月期 決算概要資料

# FUYO LEASE GROUP

---

1. 決算概況 ..... P3
2. 事業活動の概況 ..... P7
3. 業績予想・配当予想 ..... P9
4. 参考資料 ..... P11

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

## 1 | 2022/3期 決算概要

- 戦略分野の事業拡大による差引利益の伸長などが貢献し、各段階利益において過去最高実績を更新（経常利益は5期連続、当期純利益は7期連続）
- 収益性を意識したアセットコントロールの推進もROA向上に寄与
- 中期経営計画目標3項目（経常利益 500億円、ROA 2.0%、営業資産残高 2.5兆円）をいずれも超過達成

(単位：億円)	21/3期	22/3期	増減額	増減率	
差引利益 *1	925	982	+57	+6.2%	*1 資金原価控除前売上総利益
売上総利益	827	889	+61	+7.4%	
営業利益	446	460	+15	+3.3%	
経常利益	480	527	+47	+9.8%	
当期純利益 *2	296	339	+43	+14.6%	*2 親会社株主に帰属する当期純利益
1株当たり当期純利益	986.18円	1,130.52円	+114.34円	+14.6%	
契約実行高	13,439	13,844	+405	+3.0%	
営業資産残高	25,559	25,659	+101	+0.4%	
ROA *3	1.94%	2.06%	+0.12pt		*3 経常利益 ÷ 営業資産残高（平残）

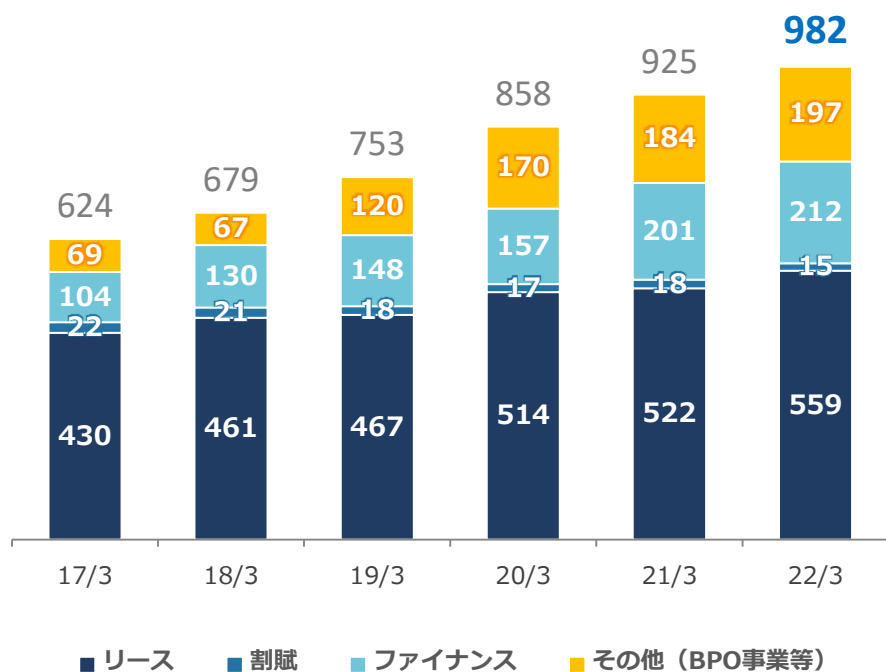
## 2 | 差引利益\*1

\*1 資金原価控除前売上総利益

- 戦略分野の伸長を主要因に、「リース」、「ファイナンス」における増益基調が継続
- NOC社の業績伸長やWorkVisionの連結化により、「その他」も伸長

### 差引利益

単位：億円



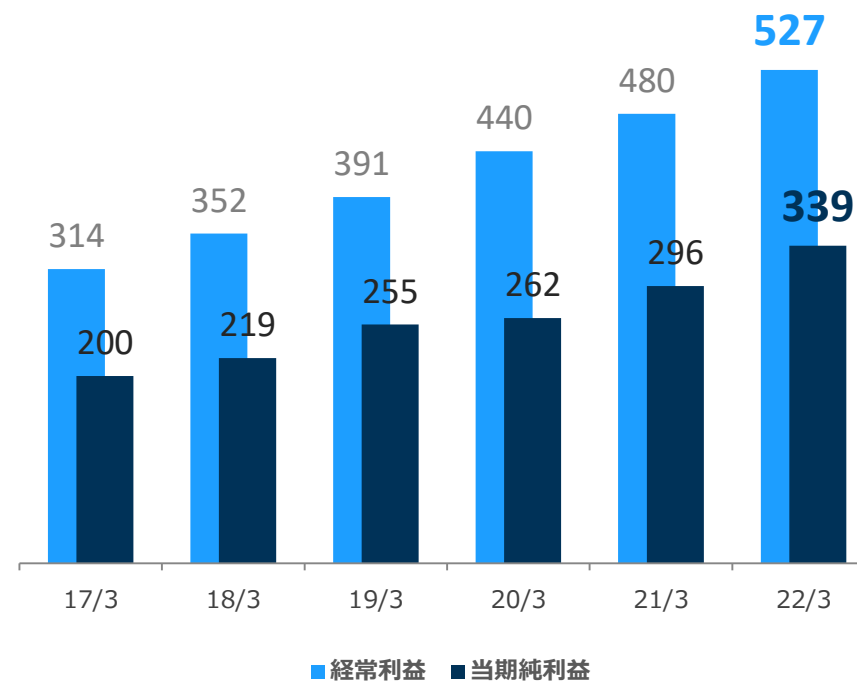
## 3 | 経常利益・当期純利益

- 差引利益の伸長に加え、持分法投資利益など営業外収益も拡大し、経常利益・当期純利益とも過去最高実績を連続更新

### 経常利益・当期純利益

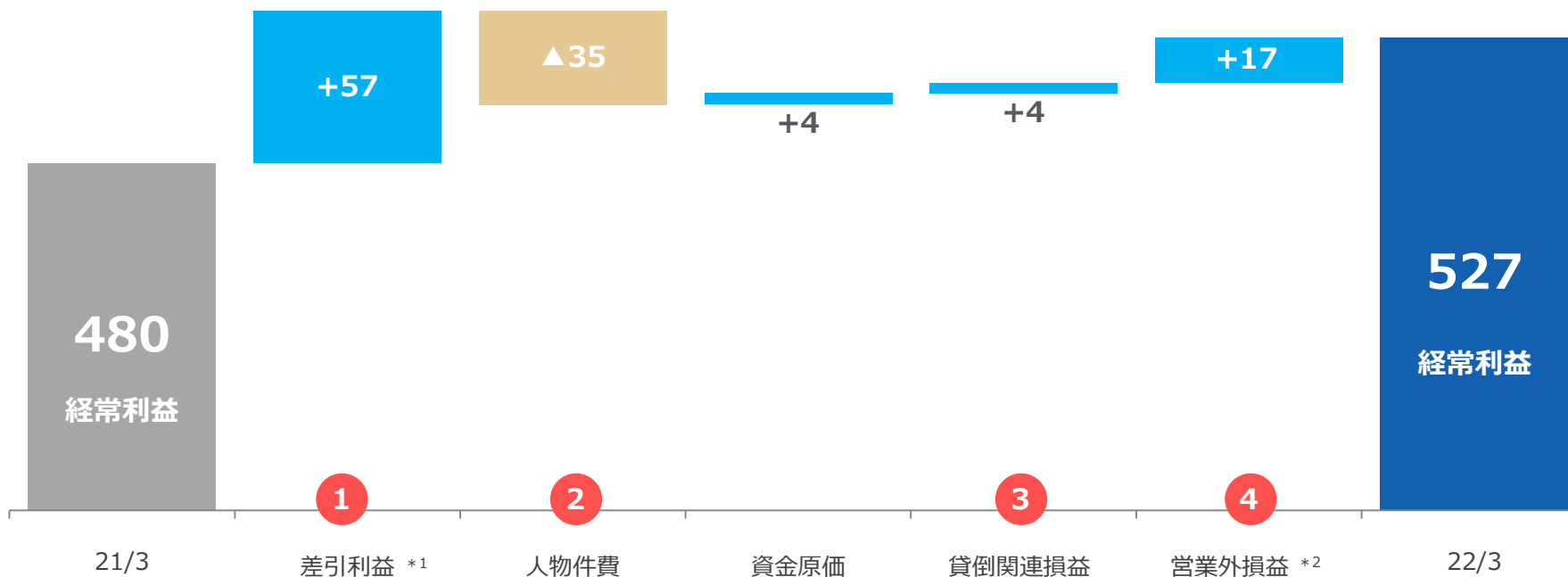
単位：億円

(当期純利益：「親会社株主に帰属する当期純利益」)



4 | 経常利益の増加要因

(単位：億円)



- 1 差引利益 「エネルギー・環境」や「不動産」などの戦略分野が伸長
- 2 人物件費 WorkVisionの連結化（第3四半期から）に加え、一時的に減少していた退職給付費用が従来水準に戻ったことも影響
- 3 貸倒関連損益 航空機事業を中心に貸倒引当金は増加した一方、債権取立益の計上により全体では戻入超過
- 4 営業外損益 持分法関連会社の業績が順調に推移したことにより、持分法投資利益が増加

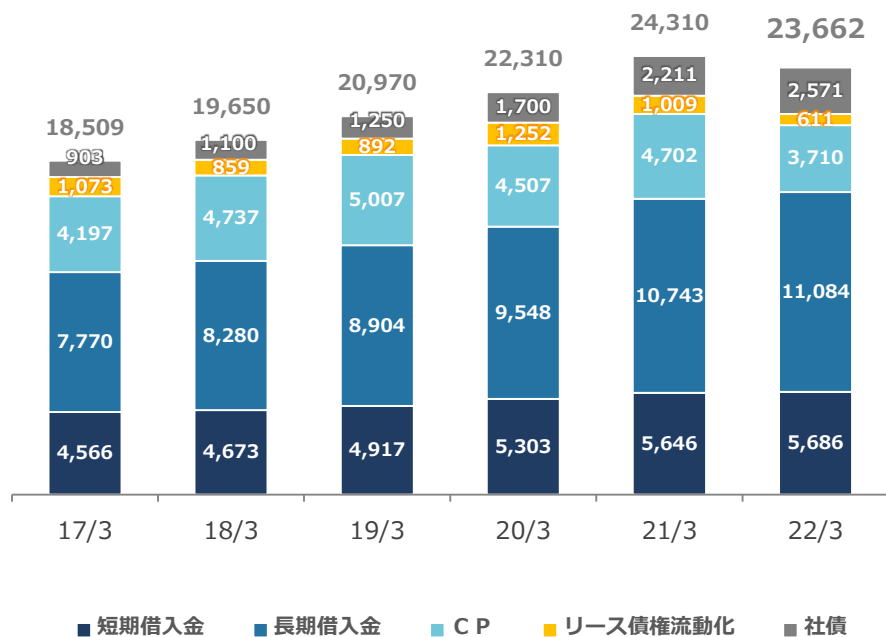
\*1 資金原価控除前売上総利益 \*2 貸倒関連を除く

## 5 | 調達状況

- 社債や長期借入金を活用した長期調達を進める一方、C Pによる短期調達を抑制
- E S Gファイナンスの取組みを積極的に進め、サステナビリティボンド（芙蓉C S Vボンド）やポジティブ・インパクト・ファイナンスによる調達を実施
- 安定的な外貨調達基盤の構築を目的に、ユーロM T Nプログラム（発行限度額20億USドル）を設定

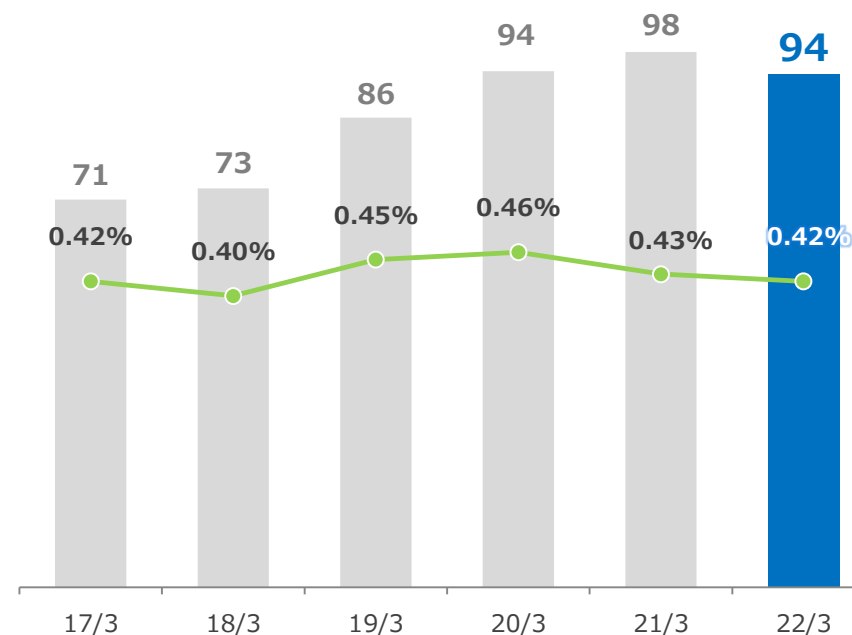
### 調達残高

単位：億円



### 資金原価・調達利回り\*

単位：億円

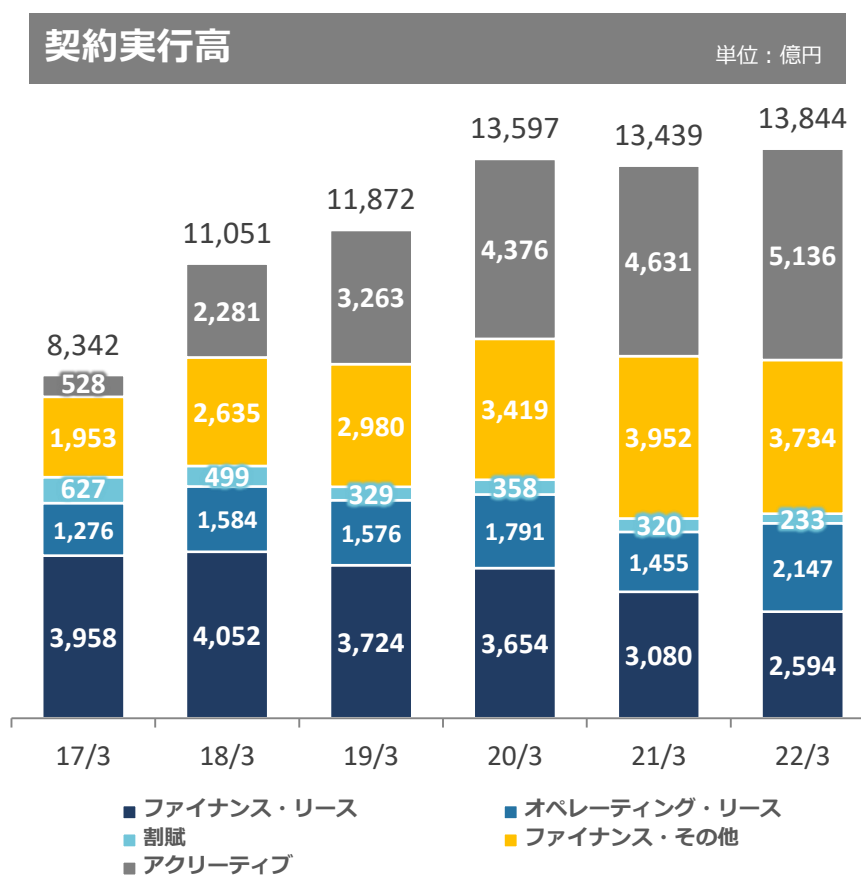


\* 調達利回りは以下で算出  
 $(\text{資金原価} - \text{営業外受取利息} + \text{営業外支払利息} + \text{社債発行費}) / \text{調達平残} \times 100\%$

## 1 | 契約実行高

- 「不動産」や「航空機」など戦略分野を中心に「オペレーティング・リース」が伸長
- 診療・介護報酬債権を中心にアクリーティブのファクタリングが増加

(単位：億円)	20/3期	21/3期	22/3期	増減額	増減率
リース	5,445	4,536	4,741	+205	+4.5%
ファイナンス・リース	(3,654)	(3,080)	(2,594)	(▲486)	(▲15.8%)
オペレーティング・リース	(1,791)	(1,455)	(2,147)	(+692)	(+47.5%)
割賦	358	320	233	▲87	▲27.1%
ファイナンス・その他	7,794	8,583	8,870	+287	+3.3%
アクリーティブ	(4,376)	(4,631)	(5,136)	(+505)	(+10.9%)
<b>合計</b>	<b>13,597</b>	<b>13,439</b>	<b>13,844</b>	<b>+405</b>	<b>+3.0%</b>



アクリーティブ：アクリーティブのファイナンス実行高  
(上記グラフのファイナンス・その他にはアクリーティブの実行高は含まない)

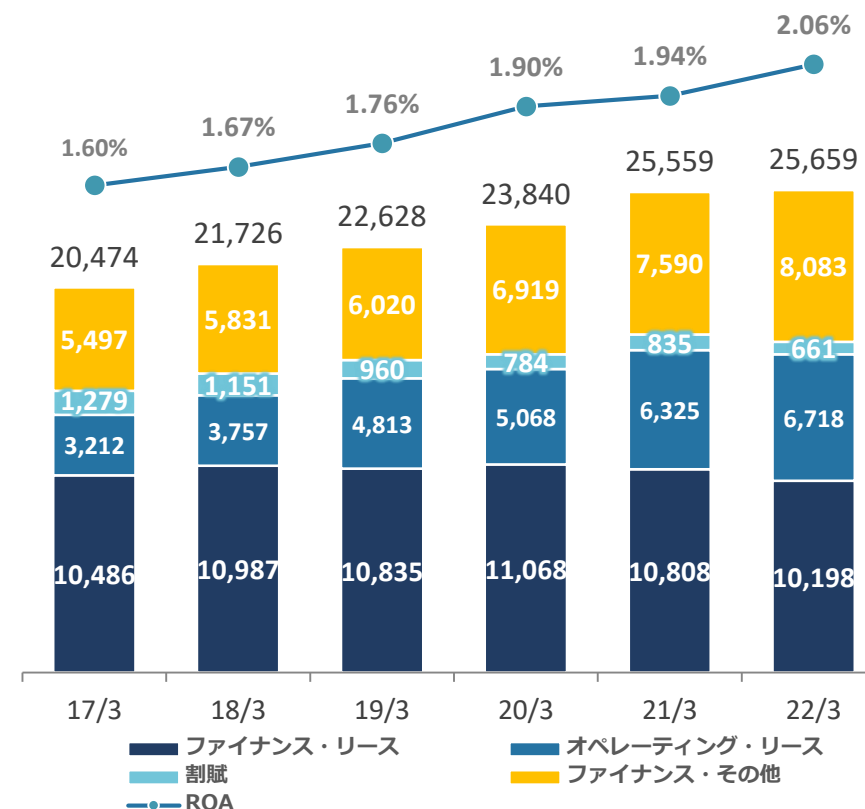
## 2 | 営業資産残高・ROA

- 戦略分野の営業資産積上げが進み、「オペレーティング・リース」が拡大
- 収益性の高いポートフォリオへの転換を進め、ROAは着実に良化

(単位：億円)	20/3期	21/3期	22/3期	増減額	増減率
リース	16,136	17,133	16,916	▲217	▲1.3%
ファイナンス・リース	(11,068)	(10,808)	(10,198)	(▲610)	(▲5.6%)
オペレーティング・リース	(5,068)	(6,325)	(6,718)	(+393)	(+6.2%)
割賦	784	835	661	▲174	▲20.9%
ファイナンス・その他	6,919	7,590	8,083	+492	+6.5%
<b>合計</b>	<b>23,840</b>	<b>25,559</b>	<b>25,659</b>	<b>+101</b>	<b>+0.4%</b>

### 営業資産残高・ROA\*

単位：億円



\* 経常利益/営業資産残高 (平均残高)



## 1 | 2023/3期 業績予想（連結）

	22/3期 実績	23/3期 予想
(単位：億円)		
売上高	6,578	7,000
営業利益	460	515
経常利益	527	560
親会社株主に帰属する当期純利益	339	360
1株当たり当期純利益（円）	1,130.52	1,202.97

## 2 | 配当方針

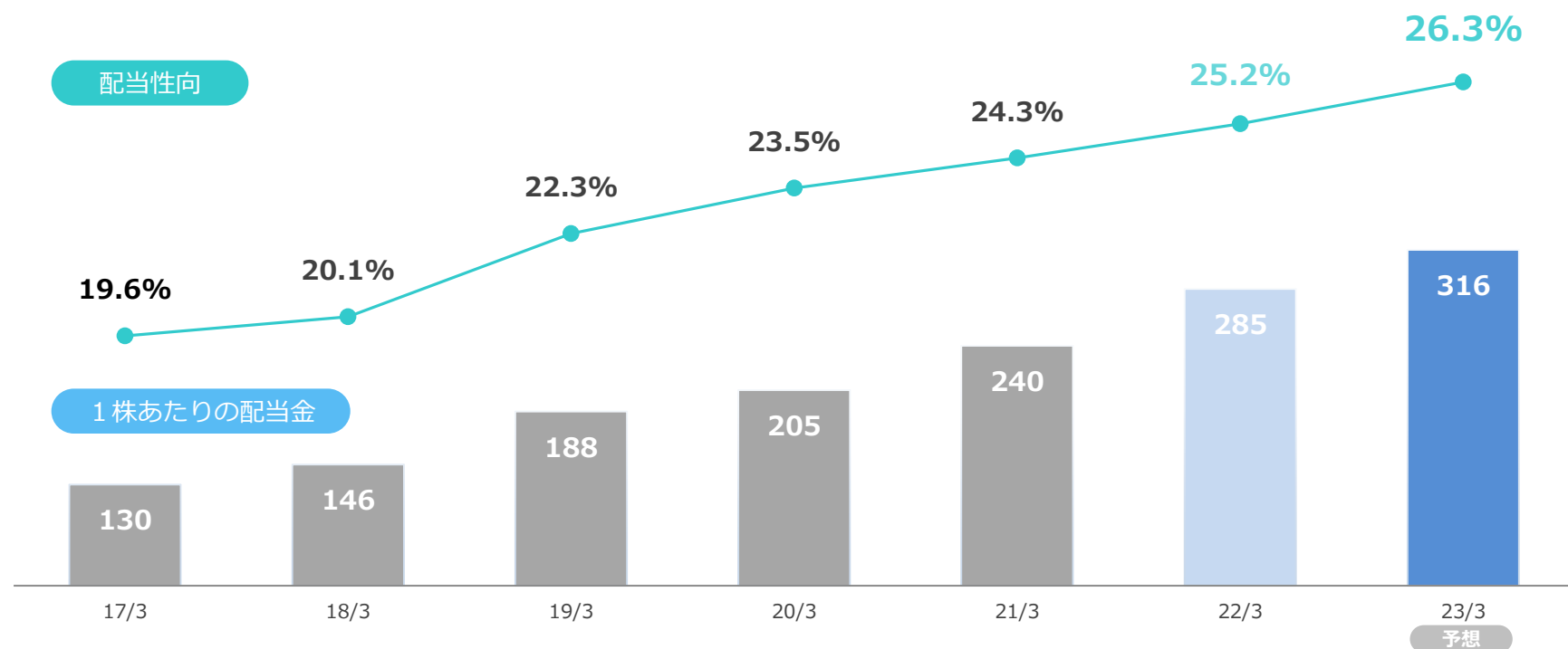
## 22/3実績

期初予想(260円)+25円増配の285円配当。配当性向は25.2%

## 23/3予想

316円配当（前期実績+31円）、配当性向26.3%（同+1.1pt）と予想

## | 配当金・配当性向の推移



1 | 連結業績概要

「収益認識に関する会計基準」  
適用を主因とする減収。  
適用による損益への影響はなし。

\*1 資金原価を除く  
\*2 資金原価控除前売上総利益

(単位：億円)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	増減額
売上高	5,903	6,181	7,123	7,403	6,578	▲824
売上原価*1	5,224	5,428	6,265	6,478	5,596	▲882
差引利益*2	679	753	858	925	982	+57
資金原価	73	86	94	98	94	▲4
売上総利益	605	667	763	827	889	+61
販管費	278	310	349	382	428	+46
(貸倒関連費用)	(4)	(8)	(14)	(18)	(30)	(+12)
営業利益	327	357	414	446	460	+15
営業外損益	25	34	26	34	67	+32
(貸倒関連損益)	(3)	(3)	(3)	(3)	(19)	(+16)
経常利益	352	391	440	480	527	+47
特別損益	▲1	9	▲20	▲0	▲1	▲1
親会社株主に帰属する 当期純利益	219	255	262	296	339	+43
一株当たり当期純利益 (円)	726.41	844.69	871.95	986.18	1,130.52	+114.34

## 2 | セグメント別営業実績

\*1 資金原価控除前売上総利益

	リース				割賦				リース及び割賦 計			
	21/3期	22/3期	増減額	増減率	21/3期	22/3期	増減額	増減率	21/3期	22/3期	増減額	増減率
売上	5,001	5,586	+584	+11.7%	416	336	▲80	▲19.2%	5,417	5,922	+505	+9.3%
売上原価	4,479	5,027	+548	+12.2%	398	321	▲77	▲19.3%	4,877	5,348	+471	+9.7%
差引利益*1	522	559	+36	+6.9%	18	15	▲3	▲15.2%	540	574	+34	+6.2%
資金原価	53	53	▲0	▲0.4%	3	2	▲1	▲32.1%	56	55	▲1	▲2.3%
売上総利益	469	506	+36	+7.8%	14	13	▲2	▲11.2%	484	519	+35	+7.2%

	ファイナンス				その他				合計			
	21/3期	22/3期	増減額	増減率	21/3期	22/3期	増減額	増減率	21/3期	22/3期	増減額	増減率
売上	206	221	+15	+7.5%	1,780	435	▲1,344	▲75.5%	7,403	6,578	▲824	▲11.1%
売上原価	5	10	+5	+108.3%	1,596	238	▲1,358	▲85.1%	6,478	5,596	▲882	▲13.6%
差引利益*1	201	212	+10	+5.2%	184	197	+13	+7.3%	925	982	+57	+6.2%
資金原価	38	37	▲1	▲3.5%	3	2	▲1	▲38.6%	98	94	▲4	▲3.8%
売上総利益	163	175	+12	+7.2%	181	195	+15	+8.0%	827	889	+61	+7.4%

※「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる減収であり、従来の基準で売上高を認識した場合、22/3期のその他売上高は1,844億円（対前期増減率+3.6%）となります。また、「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる損益への影響はありません。

## 3 | 営業資産残高

(単位：億円)	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	増減額	増減率
リース	14,744	15,648	16,136	17,133	16,916	▲217	▲1.3%
ファイナンス・リース	(10,987)	(10,835)	(11,068)	(10,808)	(10,198)	(▲610)	(▲5.6%)
オペレーティング・リース	(3,757)	(4,813)	(5,068)	(6,325)	(6,718)	(+393)	(+6.2%)
割賦	1,151	960	784	835	661	▲174	▲20.9%
ファイナンス・その他	5,831	6,020	6,919	7,590	8,083	+492	+6.5%
合計	21,726	22,628	23,840	25,559	25,659	+101	+0.4%

4 | 契約実行高

(単位：億円)	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	増減額	増減率
リース	5,636	5,300	5,445	4,536	<b>4,741</b>	+205	+4.5%
ファイナンス・リース	(4,052)	(3,724)	(3,654)	(3,080)	<b>(2,594)</b>	(▲486)	(▲15.8%)
オペレーティング・リース	(1,584)	(1,576)	(1,791)	(1,455)	<b>(2,147)</b>	(+692)	(+47.5%)
割賦	499	329	358	320	<b>233</b>	▲87	▲27.1%
ファイナンス・その他	4,916	6,243	7,794	8,583	<b>8,870</b>	+287	+3.3%
<b>合計</b>	<b>11,051</b>	<b>11,872</b>	<b>13,597</b>	<b>13,439</b>	<b>13,844</b>	+405	+3.0%

## 5 | 物件別リース契約実行高

(単位：億円)	20/3期	21/3期	22/3期	増減額
情報・事務用機器	2,072	1,588	1,254	▲333
産業工作機械	442	276	224	▲52
土木・建設機械	102	91	61	▲30
輸送用機器	571	383	606	+224
医療機器	274	188	162	▲26
商業・サービス用機器	312	203	158	▲45
建物等	1,422	1,617	2,126	+509
その他	250	191	150	▲41
<b>合計</b>	<b>5,445</b>	<b>4,536</b>	<b>4,741</b>	<b>+205</b>

前例のない場所へ。

**FUYO LEASE GROUP**

芙蓉総合リース株式会社